

「下水道管きょ劣化データベース VER.4」の概要

「下水道管きょ劣化データベース」とは、

- 地方公共団体の下水道管きょのTVカメラ調査結果等を収集し、国総研にて、管種・経過年数・腐食やたるみ等の劣化判定結果などの情報を整理したデータベース。
- 79地方公共団体の約38万スパン分のデータを公開（令和7年6月時点）。
- 点検調査データの蓄積が少ない地方公共団体が点検調査優先箇所や改築需要予測を検討する際に補完データとして活用可能。

「TV調査結果がない」、「古い管きょが無い」などの地方公共団体は、
「下水道管きょ劣化データベース」により検討に必要なデータを補完！

各都市の
下水道台帳

健全度予測に必要なデータ

経過年数

管 種

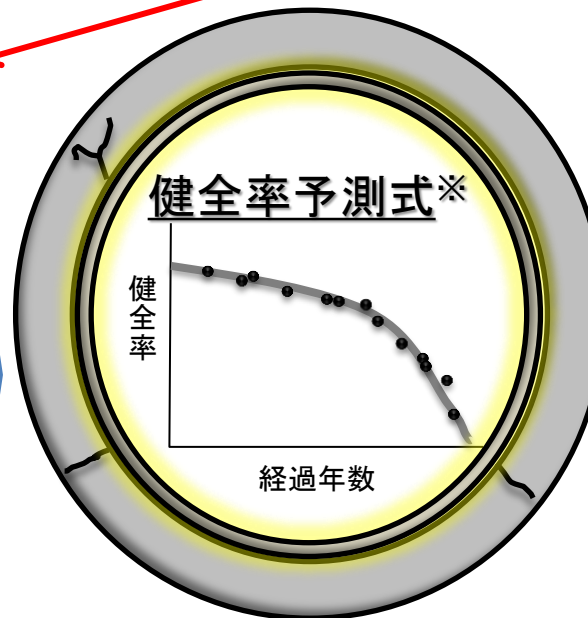
劣化判定結果
(TVカメラ調査結果)

管 径

排除方式など

□ : 必須データ

□ : 必要に応じ



下水道管きょの
ストックマネジメントに活用

- 点検調査の優先箇所の検討
- 改築需要の予測
- 維持管理計画の策定 など

※健全率予測式の作成方法については、下記URL（国総研HP）をご参照ください。
<https://www.nilim.go.jp/lab/ebg/rekka-db.html>

図 下水道管きょ劣化データベースの活用イメージ